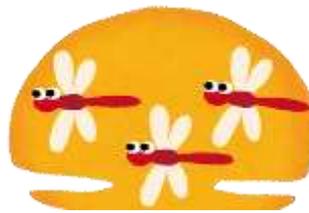


コミスクだより

No. 3



令和3年10月
かほく市立七塚小学校
校長 宗廣 進一
SCN 澤野 真由美

美しい日本語講座 9月13日(月)、9月15日(水)



今年も全児童がフリーアナウンサーの松田亜希さんに美しい日本語で相手に伝える、伝わる話し方を教えていただきました。今年のキーワードは「マイナス言葉をプラスに変えよう!」。言葉は使い方を間違えるとナイフのように人を傷つけたり、毎日が楽しくなかったり自分の事を嫌いになったりします。相手にも自分にも優しい言葉がけができるようになってほしいですね。

例えば「サッカーの試合の時、試合終了ギリギリでAくんのミスで負けた」

マイナス言葉

「Aくんのせいで負けた!」

プラス言葉

「ギリギリだったのもすごい!
みんなが頑張ったからだよ。
またつぎも頑張ろう!」

昼休みには、放送委員会の児童を集めて、アナウンス講座をしていただきました。

日々の放送と運動会で、正確に聞きやすいアナウンスができるように、心構えとテクニックを教えていただきました。運動会では、すてきなアナウンスにもご注目ください。

木津桃ジャム試食会 10月5日(火)



6年生が各クラスに木津桃のジャムを持って訪問し、木津桃の性質や育て方や歴史について説明をしてジャムを渡しました。担任の先生からパンのお皿にジャムをのせてもらった子ども達は「おいしい!」「甘酸っぱい!」と、感想を言い合いながらおいしくいただきました。おうちに木津桃の木がある子もいて、「家でたくさん食べた。」「種は大きくてとんがってるんだよ。」と周りにお話していました。

今年は6年生が調理することはできませんでしたが、来年こそは6年生の作ったジャムをみんなで食べたいですね。



宮沢賢治のお話 10月6日(水)

6年生は、国語の授業で宮沢賢治の「やまなし」という作品を学びます。

今回は、かほくおはなしボランティア『やまんば』代表細川律子さんをお迎えして、宮沢賢治についてお話ししていただきました。細川さんは、岩手県出身で幼い頃から宮沢賢治を身近に感じ、本に親しんでこられたそうです。物語を生み



出した背景にある宮沢賢治の人生と岩手県の風土風習をていねいに説明していただき、子ども達も岩手の野山を想像したり宮沢賢治のその時々的心情を考えたりできました。

